

修業年限短縮申請書(院生用)

平成 年 月 日提出

ふりがな 申請者氏名	〇〇 領域 〇〇 教育研究分野 年 (〇〇年度入学)		
	〇〇〇 〇〇〇〇 ⑩		
生年月日	年 月 日生	性 別	男 ・ 女
現 住 所	〒		
指導教員	指導教授 [所属 :] 氏名		⑩
	指導教員 [所属 :] 氏名		印
	指導教員 [所属 :] 氏名		印
	指導教員 [所属 :] 氏名		印
論文題目 (英文の場合は和訳を付すこと。)			
共著者名			
掲載誌名 始→終 掲載(発行)年 ; 巻 : 頁 〇-〇			

※記入見本を参照すること。

注 1. 掲載された論文の別刷(掲載が決定された論文の場合は、受理証明書又は掲載証明書)を添付すること。

注 2. 学位請求論文の内容の要旨(医共様式 1)を添付すること。

注 3. 学位申請にかかわる論文の同意書[共著者全員分を別葉で](医共様式 2)を添付すること。

注 4. 証明書[指導教授が証明](医共様式 3)を添付すること。

修業年限短縮申請書(指導教授用)

平成 年 月 日提出

講座名：_____

指導教授氏名：_____印

下記の者は優れた研究業績を上げた者と認めますので、修業年限の短縮を申請します。

ふりがな 申請者氏名 入学年度・年次	平成 年度入学 年	専攻	〇〇〇領域 〇〇〇教育研究分野
--------------------------	-----------	----	--------------------

1. 学位論文の根幹をなす論文

論文題目 (英文の場合は和訳を付すこと)	
著 者 名	
雑 誌 名	
掲載(発行)年； 始→終 巻：頁 〇－〇	

2. 優れた研究業績を上げたと認める理由

※ 記入見本を参照すること。

※ 理由に論文投稿時の I F (Impact Factor) も記載すること。

※ 理由が複数ページにわたる場合は、欄外下中央にページ番号を付すること。(例2／1)

学位請求論文の内容の要旨

論文提出者氏名	〇〇領域〇〇教育研究分野 氏名 〇〇〇〇
(論文題目)	
(内容の要旨：和文で 2,000 字程度)	

※1 乙の場合, 〇〇領域〇〇教育研究分野にかえて, 所属の〇〇講座を記入すること。

※2 論文題目が英文の場合は () 内に和訳を付記すること。

学 位 論 文 審 査 願

平成 年 月 日

弘前大学長 殿

弘前大学大学院医学研究科
○○領域○○○教育研究分野

氏 名



本学学位規則第 5 条第 1 項の規程に基づいて、下記のとおり提出いたしますので、審査くださるようお願いいたします。

記

論 文 目 録	部
学 位 論 文	部
参 考 論 文	部
履 歴 書	部

注 1) 論文目録，学位論文，履歴書は各 1 と記入すること。

注 2) 参考論文は申請者が著者として参画している論文で，様式第 3 の論文目録用紙に記載の部数と整合すること。

論文目録

氏 名

印

学 位 論 文 部

題 名

公表方法

及び公表年月

参 考 論 文 部

1) 題 名
公表方法
及び公表年月

2) 題 名
公表方法
及び公表年月

※ 記入見本を参照のこと。

- 1 論文題名が外国語の場合は、(和訳)を付記すること。
- 2 論文が未公表の場合は、受理年月と予定の内容を記載すること。
- 3 論文が公表済みの場合は、刊行物名、公表年月、巻、ページを記載すること。
- 4 参考論文は、申請者が著者として参画している論文を2部以上(原著論文、臨床研究、症例報告及び総説(文科省、厚労省の報告、学会抄録は認めない)。その際、著者が複数の場合は3人まで列記し、4人目に et al とする。ただし、申請者が4人目以降の場合は、申請者まで列記して、その次の人から et al とする。また、申請者名に下線を引くこと。

※ 論文目録を作成後は、最後に枠外の注意文を削除して完成させること。

履 歴 書

本 籍

現住所

性 別

氏 名

年 月 日生

学 歴

年 月

卒業

年 月

入学

年 月

卒業

職 歴

年 月

年 月

研 究 歴

年 月

年 月

平成 年 月 日

氏 名

印

※ 記入見本を参照のこと。(甲・乙別葉見本)

※ 職歴(勤務先), 研究歴(研究機関等)は正式名称で記入のこと。

※ 職歴, 研究歴の最後に必ず「現在に至る」と記載すること。

※ 履歴書を作成後は, 最後に枠外の注意文を削除して完成させること。

学位申請にかかわる論文の同意書

(複製権及び公衆送信権の許諾を含む)

申請者

(※1)

所 属：弘前大学大学院医学研究科 ○○領域 ○○教育研究分野 ○年

氏 名：

論文題目

(※2)

上記論文は、申請者との共同研究によるものであり、申請者がこの論文を用い学位申請すること及び博士論文のインターネット公開に関わる一部の著作権（複製権・公衆送信権）について、学術誌での掲載条件の範囲内において許諾することに同意します。

平成 年 月 日

所属

氏名

印

※1 乙の場合は、○○領域○○教育研究分野にかえて、所属の○○講座を記入すること。

※2 英文の場合は（ ）内に和訳を付記すること。

※ 共著者全員の同意書を別葉で作成すること。

証 明 書

申請者 (※1)
所 属：弘前大学大学院医学研究科 ○○領域 ○○教育研究分野 ○年
氏 名：

論文題目：

(※2)

上記論文申請者は、本研究に重要な役割を果たしたことを証明します。

平成 年 月 日

弘前大学大学院医学研究科長 殿

所属 学講座
指導教授 氏名 印

- ※1 乙の場合は、○○領域○○教育研究分野にかえて所属の○○講座を記入すること。
- ※2 英文の場合は（ ）内に和訳を付記すること。
- ※ 共同研究の結果をもとに学位論文を作成した場合、「当該研究に重要な役割を果たした」ことを指導教授が証明するもの。

機関リポジトリ登録用論文の要約

論文提出者氏名	〇〇領域〇〇教育研究分野 氏名 〇〇〇〇
(論文題目)	
(内容の要約)	

※ 論文題目が英文の場合は, ()内に和訳を付記
※ 医共様式1「学位請求論文の内容の要旨」を引用でも可

機関リポジトリによる論文公表条件チェック表

論文がアクセプトされた後に必ず、出版社へ以下の内容について確認して下さい。また、出版社からの回答メールなど証拠となる書類を必ず添付して下さい。

平成 25 年度、学位規則の一部を改正する省令(文部科学省令第 5 号)の施行により、弘前大学機関リポジトリでのインターネット公表します。そのため、複製権及び公衆送信権を保有する出版社に対し、公表の可否を含む公表条件の確認が必要となるものです。

次頁に示す留意事項に注意しながら、下欄の各事項について確認し、ご記入下さい。なお、これによる学位授与後の手続きの流れは次頁のとおりとなります。

- 掲載(又は掲載予定)論文の公表について、出版社の著作権ポリシー、公表条件を教えてください。

1. 学位論文申請者の氏名：
2. 掲載（掲載予定）の出版社名：
3. 掲載誌名：
4. 掲載（掲載予定日）：西暦 年 月 日

- ## 5. 条件について

条件(1) 内容について

あてはまる□にチェックして下さい。

- ☐ A : 出版社版の利用のみ可能 ―→ 条件(2)・(3)に進んで下さい。
- ☐ B : 著者最終原稿版のみ可能 //
- ☐ C : 出版社版・著者最終原稿版どちらも可能 //
- ☐ D : 公表できない ―→ここで記載終了
- ☐ E : 現時点で出版社から返事なく、
著作権ポリシーの公開もなく確認出来ない ―→ここで記載終了

条件(2) 公表可能となる経過年月

学術誌等掲載後〇〇年、〇〇月経過　――〇〇に年・月をご記入下さい。

条件(3) その他条件

その他の条件が示された場合は、その条件を下欄に記述下さい。

その他条件：

例 A) 出版社版へのリンクを表示すること。

例 B) 出典表示をすること。 例 C) その他

提供方法（媒体）	電子媒体 ☐ CD ☐ DVD ☐ USB その他（ ）
ファイル形式	☐ PDF ☐ Word ☐ Excel ☐ PowerPoint ☐ 一太郎 ☐ その他（ ）

1. 留意事項

- (1) 機関リポジトリによるインターネットでの論文公表に際し、学術誌等への掲載又は掲載予定の論文には、複製権、公衆送信権の著作権に係る制約が生ずるため、申請者または指導教授は各自、関係出版社へ公表に関する条件確認、共著者等への同権利の許諾依頼など以下を参考に必ず行って下さい。

① 別添に外国の出版社に著作権許諾を聞く場合のメールの文章例を示します。

② 出版社によっては著作権ポリシーを公開しています。また、他機関のホームページでも様々な学術誌、学会の著作権ポリシーデータベースが公開されています。

- ・筑波大学がメインで運営している著作権ポリシーデータベース「SCPJ」
(学会名、雑誌名から著作権ポリシーを検索できます)

<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>

- ・外国の出版社のポリシーデータベース「SHERPA/RoMEO」

<http://www.sherpa.ac.uk/romeo/>

- (2) ①学術誌等への掲載により公表が不可の場合、②公表時期に制約があり、その時期まで公表が不可の場合、③出版社等から返事がない場合は、論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することになります。

なお、③の場合は授与後3か月をもって、出版社等からの返事待ちの状態を終結します。

- (3) 論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は一定の期間を非公開とする場合であっても、求めがあれば附属図書館または医学研究科において閲覧に供する必要があります。

2. 学位授与後の手続きの流れ

- (1) 機関リポジトリによるインターネット公表が可能な場合（チェック表で「A B C」）

- ・学位授与→ 公表時期、公表形態などの出版社からの公表条件に従い、弘前大学リポジトリにおいて、博士論文の公表にむけた対応をする。

ただし、公表の条件が厳しく、対応が困難な場合は、公表不可に準ずると判断し、リポジトリ登録用論文の要約で対応する。

- (2) 出版社からの確認の結果、機関リポジトリによるインターネット公表が認められない場合（チェック表で「D」）

- ・学位授与→ 3か月後にリポジトリ登録用論文の要約で対応（完結）

- (3) 出版社から返事がなく、著作権ポリシーも公開していない場合（チェック表で「E」）

- ・学位授与→ 3か月後(6月末日)時点で

A 返事があった場合：

出版社からの条件にあわせ博士論文を公表

ただし、公表の条件が厳しく、対応が困難な場合は、公表不可に準ずると判断し、リポジトリ登録用論文の要約で対応（保留状態終結、以降出版社へ確認等不要）

B 返事がない場合：

出版社からの意向は、公表不可に準ずると判断し、リポジトリ登録用論文の要約で対応（保留状態終結、以降出版社へ確認等不要）

- ・なお、この時点以降は、Bの場合でも出版社から、公表可能の返事があった時点で随時、Aと同様に出版社の公表条件にあわせて博士論文を公表する。

[外国の出版社に著作権の許諾を問い合わせる場合の文章例]

Dear Publisher,

Thank you for publishing our article. We would like to use our article as a thesis of Taro Hirosaki. Our government requests us to make a thesis available online to the public, if permission is obtained by the publisher. If this is against your policy, please let us know. We need a proof that the publisher declined the online release of our article. If you can set up an embargo of the online release, please let us know the date of embargo.

Thank you.

Sincerely,

★下線部分に申請者名を入れ替えてお使い下さい。

平成 年 月 日

機関リポジトリ登録許諾書

弘前大学附属図書館長 殿

①所 属： _____
 フリガナ _____
 氏 名： _____（自署）

②連絡先
 住 所： 〒 _____

TEL : _____
 E-mail : _____

③学位取得後の連絡先（②と同じ場合又は未定の場合は記入不要）
 住 所 〒 _____

TEL : _____
 E-mail : _____

私が執筆した下記の博士論文（全文）について、弘前大学学術情報リポジトリを通じてインターネット上に無償公開することを許諾します。

記

論文題目 ※英文の場合は (和訳)を付記のこと。	
学位授与年月日 *事務記入欄	平成 年 月 日

学術誌への掲載（予定）の場合	(1)学術誌名		ISSN :
	(2) 掲載（発行） 年；巻：頁〇—〇 始→終	※掲載することのみ決定で他は未定の場合、分かる範囲で記載。 又は掲載予定と記載	
	(3)出版社名		
	(4)掲載日(予定)	平成 年 月 日（予定）	
	(5)公表の可否	☐ 可 公表するための条件 (1)内容について ☐ A：出版社版の利用のみ可能 ☐ B：著者最終原稿版のみ可能 ☐ C：出版社版・著者最終原稿版どちらも可能 (2)公表可能となる経過年月 学術誌等掲載後_____年_____月経過 (3)その他の条件（※１）	
	☐ 否 → （論文の要約を公表する）		

・該当する□をチェックし、確認事項にご記入下さい。（記入見本を参照のこと）

※１ 公表条件が厳しく対応が困難な場合は、公表不可に準ずると判断し「論文の要約」を公表する。

※ 公表条件チェック表（リポ共様式２）とは整合すること。

<注意事項> １．この許諾書は、博士論文のインターネット公開のため、著作権のうち複製権・公衆送信権

について許可を与えていただくものであり、著作権を移譲するものではありません。

２． 弘前大学学術情報リポジトリではデータの公開にあたり、データの複製（印刷・ダウンロード等）は、調査研究・教育または学習を目的としている場合に限定されることを明示します。

３．論文が既に出版社から特許・実用新案等の申請予定がある場合は、下記までご連絡のこと。

４．この許諾書に記載いただいた事項は、目的以外の用途には使用いたしません。

連絡先：〒036-8560 弘前市文京町１ 弘前大学研究推進部学術情報課（
附属図書館）資料管理グループ
TEL: 0172-39-3156/FAX: 0172-39-3171/E-mail: repohelp@cc.hirosaki-u.ac.jp

附属図書館 記入欄	受付日	平成 年 月 日	登録日	平成 年 月 日
	学位記番号	博 第 号	ハンドル	10129/

学位論文審査員推薦書（甲）

平成 年 月 日

研究科教授会 殿

学位論文指導教授

氏名： _____ 印

学位論文の審査員を下記のとおり推薦します。

記

学位論文提出者 _____ 領域

_____ 教育研究分野 年

氏名 _____

推薦する審査員	主査	教授
	副査	教授
	副査	教授
	副査	教授
	副査	教授

備考：指導教授・共著者以外の教授 5 名を推薦してください。

学位申請資格審査願

平成 年 月 日提出

ふりがな 申請者氏名	⑩		
生年月日	年 月 日生	性別	男・女
現住所	〒 ☎ ()		
外国語試験	平成 年 月 (科目 ・) 合格		
指導教官	所 属 講 座		
	教 授 ⑩		
論文題目 ※英文の場合は (和訳)を付記			
備 考			

研 究 業 績 表

所属講座等： _____

氏 名 _____

学術論文、研究報告等の論文題名	発行年月 掲載(発行)年；巻：頁〇－〇 (始→終)	公表雑誌等名の名称	共著者名
学会等発表の論文題名	発表年月	発表学会等の名称	共同発表者名

※別刷・学会抄録等、証明となるものを添付してください。

学 位 申 請 書

平成 年 月 日

弘前大学長 殿

氏 名 印

貴学学位規則第5条第2項の規定に基づいて、下記のとおり添付のうえ、
博士の学位の授与を申請いたします。

記

論 文 目 録	部
学 位 論 文	部
参 考 論 文	部
履 歴 書	部
学位論文審査手数料	円

- 注1) 申請年月日は、審査手数料納付日を記入すること。
注2) 論文目録、学位論文、履歴書は各1と記入すること。
注3) 参考論文は、申請者が著者として参画している論文で、様式第3の論文目録用紙に記載の部数と整合すること。
注4) 審査手数料は、57,000円

学位論文審査員推薦書（乙）

平成 年 月 日

研究科教授会 殿

学位論文指導教授

氏名： _____ 印

学位論文の審査員を下記のとおり推薦します。

記

学位論文提出者 _____ 講座

氏名 _____

推薦する審査員	主査	教授
	副査	教授
	副査	教授
	副査	教授
	副査	教授

備考：指導教授・共著者以外の教授 5 名を推薦してください。

論文審査の要旨(甲)

申請者領域・分野 氏名	領域	教育研究分野	氏名
指導教授氏名			
論文審査担当者	主 査 ○○○○	副 査 ○○○○	
(論文題目)			
(論文審査の要旨) 900 字程度			
～学位授与に値する。			
公表雑誌等名			
(始→終) 掲載(発行)年；巻：頁○ー○ 又は 掲載予定			

※論文題目が英文の場合は () 内に和訳を付記する。

※論文審査の要旨は本ページ 1 枚以内とする。

※論文審査の要旨の最後には、～～「**学位授与に値する。**」と記入する。

試験の結果の要旨（甲）

申請者領域・分野 氏名	領域	教育研究分野	氏名
指導教授氏名			
試験担当者	主 査	○○○○	
	副 査	○○○○	副 査 ○○○○
(試験の結果の要旨)			

※記入見本参照のこと。

※論文審査の要旨の最後には、～～「学位授与に値する。」と記入する。

試験の結果の要旨（乙）

申請者所属講座 氏名	○○○ 講座 氏名
指導教授氏名	
試験担当者	主 査 ○○○○ 副 査 ○○○○ 副 査 ○○○○
(試験の結果の要旨)	

※記入見本を参照すること。

指導教授の推薦書

学位申請者		推薦教授	講座名
			印